



ー ボランティア・カフェー



「当事者が主役」ってどういうこと？

～ JICA「TAMPOPO」プロジェクトに学ぶ国際協力～

本イベントでは、JICA プロジェクト・ヒストリー『TAMPOPO の綿毛が風に飛んでいくーブラジルろう者「当事者主体」の奮闘の軌跡』(*)を題材に、プロジェクトに関わったメンバーの視点から、国際協力における「当事者主体」の活動のあり方や社会モデルについて考えます。

※本イベントには情報保障として、要約筆記、手話通訳があります。

*「TAMPOPO プロジェクト」は、2008～2013年までブラジルで行われた JICA 草の根技術協力事業「ろう者組織の強化を通じた非識字層の障害者への HIV/AIDS 教育」のこと。



日時

12/1(月)
18:00～20:30

場所

明治学院大学白金校舎
アートホール(パレットゾーン2階)

申込

お申込みはこちら
(学内外問わず、申込できます)



定員

70名
(先着順)

第1部 | JICA「TAMPOPO」プロジェクトに学ぶ国際協力

「TAMPOPO プロジェクト」に関わった、盛上真美 (DPI 日本会議国際部会メンバー)、吉田憲 (JICA コスタリカ所長)、西村正樹 (DPI 日本会議・副議長) の3名の報告から、国際協力における「当事者主体」について考えます。



第2部 | パネルディスカッション

第2部ではもっと身近な話題から「当事者主体」や社会モデルを取り上げ、本学学生も交えパネルディスカッションを行います。

登壇：吉田憲 (JICA コスタリカ 所長) 西村正樹 (DPI 日本会議 副議長)
 廣瀬芽里 (Yes, Deaf Can! 代表) 坂本輝 (明治学院大学 法学部 3年)
 進行：田中悠輝 (ボランティアセンター・コーディネーター)

共催：明治学院大学ボランティアセンター、DPI 日本会議 協力：JICA
 お問い合わせ：明治学院大学ボランティアセンター | TEL：03-5421-5131